

2018年度より法人事業計画を作成し、法人の理念と基本方針、年度ごとの課題を明確にし、それに基づいた運営に努めてきました。

2021年度の課題の達成状況は以下のとおりです。

## 1. 法人の理念、運営方針の議論と具体化

コロナ禍のもとで様々な支障もありましたが、各園での議論を行い、今後の保育のあり方の検討を進めることができました。これらの内容を今後の保育の中に反映させていきます。

## 2. 職員の確保

大変に厳しい体制でのスタートとなりましたが、職員の奮闘と、大きな支出を伴うものの採用に結び付く紹介会社の活用も初めて行って、何とか乗り切ることができました。あらためて年度当初の職員確保が大切であることが確認できました。

## 3. コロナ対応

釧路市内でもコロナ感染が広がり、園内でも濃厚接触者や陽性者が発生する等、園運営に大きな影響がありました。対応について釧路市や保健所等とも連携しながら進めましたが、独自の判断を要する事も多く、苦慮する場面が多々ありました。幸いな事に園内での感染拡大はありませんでしたが、引き続き感染対策の取り組みが大切です。

園の行事についてもその都度検討し、工夫しながら対応してきました。行動制限が緩和されていく中、今後の在り方の検討も必要になります。

## 4. 2021年度の課題

### (1) 保育園の管理運営の充実

両園の園長交代がありましたが、園長会議の開催や、理事会・事務局機能を発揮する中で管理運営を発展させることができました。

### (2) 法人の管理運営の充実

新しい理事会、評議員会の体制を確立することができました。

### (3) 職員の確保、処遇改善

職員の確保は、園の運営や労働環境の改善のために欠かせない課題です。紹介会社等も活用しながら確保に向けた取り組みを進めました。年度を通して安定した体制を確立するために、引き続き確保の取り組みが重要です。

補助金の額の通知が遅れ、その内容が把握できなかったため2020年度の期末手当を不支給としましたが、補助金の増額されたことから夏期一時金の上乗せ支給を行いました。期末手当を0.2か月支給しました。

保育士等処遇改善臨時特例交付金が支給されたことから、2021年度については年度末に一括支給（15000円×2月分）を行い、2022年度からは毎月定額支給（月13000円）を行うこととしました。

実習生を担当した場合の手当の新設、パート職員の検診内容の改善を行いました。

### (4) コロナ対策、安全・リスクマネジメントの取り組み

新型コロナ対策やノロウイルス対策を釧路市や協力医療機関と連携しながら進めてきました。

感染対策の学習を行うとともに、感染が発生した際の園の対応のマニュアル化等も行いました。

### (5) 法人ホームページ、園のリーフレットの更新

園のリーフレットの更新を行うための検討を進めました。2022年度に更新を行い、どんぐりの家保育園の魅力を地域に周知していきます。

### (6) 各種規程の整備

就業規則、給与規程の検討を行い、改定に向けた準備を進めてきました。2022年度での改定を目指します。

### (7) 経営の課題

法人の中長期計画では、毎年500万円の積立を目標としていますが、2021年度はそれを上回る1700万円の積立を行うことができました。2018年度からの4年間で3200万円の増額となりました。

## 5. 会議の開催

### (1) 理事会の開催

コロナのためリモートも活用して、工夫しながら3か月ごとに開催しました。  
監事監査も3か月ごとに実施しました。

### (2) 評議員会の開催

6月に定期評議員会を開催しました。1月にも開催する予定でしたが、コロナ感染の広がりにより中止としました。

### (3) 法人事務局会議の開催

基本的に毎月1回の開催を行ってきました。

## 6. その他

今年度、以下の建物修繕等を行いました。

昭和：テラス修繕、厨房電気消毒保管庫の更新等

治水：2階の床修繕、ドア塗装、正面入り口柵の修繕等

以上

## (1)総括

- 園長の交代があり、改めてこれまで行ってきた一つ一つの行事や取り組みについて、目的や意図を確認しながら進めてきました。職員にとっては戸惑いも多かったと思いますが、「何で？」と考える事でまた、「どんぐりが大切にしたいことって何だろう」を職員で議論し、両園のリーダーでまとめ、入園のしおりに反映することが出来たことは大きな成果でした。まとめて終わりではなく、今後は、実践していることが何につながっているのかを議論しながら、豊かな保育が展開できるように学んでいきたいと思えます。
- 経営面では、職員の経験年数が12年となり、チーム保育推進加算を取ることが出来、職員増と目標以上の積み立てを行うことが出来ました。しかし、職員の採用については、ハローワークからの問い合わせがないため紹介業者を利用せざるを得なく、高額な手数料を支出することになりました。求人時期、募集方法の工夫などの課題が見えました。
- 新型コロナウイルス感染症への対応では、消毒・手洗い、健康管理、保育の工夫(制限も含め)等、法人や園医・行政と協議しながら対応を行ってきました。今年は、園内でも陽性者が出て、2度の休園をしなければならず保護者にも保育士にも大きな負担がありましたが、保護者の理解や協力を得たことで幸いにも感染に広がりはありませんでした。しかし、いつ誰が感染するかわからない状況は続いています。引き続き感染対策をとりながらも、過剰な対応は見直し、こどもたちの健康にとって本当に大切なことを考えていきたいと思えます。
- 保護者支援では、今年度は、感染の状況を見ながら未満児クラスでの懇談会を対面で行い、年長児はリモートでの交流を行いました。個人面談も必要に応じて実施する中で、保護者と対面で語り合う事の大切さを再確認しました。コロナ過で長い間保護者同士の交流の場を持たず、これまで蓄積されてきた親の会の活動や保護者の繋がりが途切れています。今後どう伝え合って保護者と共に園を運営していくかが課題です。

## (2)保育園の運営状況

## 年間利用者数

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
園児数	71	71	71	71	71	71	71	70	71	71	71	71

## 職種別職員数(3月末日現在)

園長	保育士(パート)	保育補助	栄養士	調理員	事務員	用務員
1名	23名(12名)	2名	1名	4名	1名	1名

## (3)2021年度の課題の取り組みについて

## 1 保育園の管理運営の充実

- 園長の交代があり、両園長会議の充実を図りました。定例化はできませんでした

が、必要な手続きについては両園長で確認をしながら行ってきました。また、法人事務局会議の定例化により、広い視野で園の問題を考えることができ、学びになりました。

- ・園内ではリーダー会議を充実させ、課題について整理しながら進めてきました。

## 2 研修の充実

- ・新型コロナウイルス感染症予防のために対面での研修の機会は減ってしまいました。他園との交流の機会が持てなかったことは残念です。
- ・法人内では、どんぐり保育園が大切にしてきたこととこれからの保育について、語り合う場を設けました。保育の柱になる部分についての確認ができました。
- ・エピペンを所持する園児がいたため、エピペンの扱い方とアレルギーについて研修を行いました。
- ・今年度は、主にこども理解を深める研修に取り組みました。講演だけでなく、カンファレンスを通して具体的な理解・対応を学ぶことが出来ました。
- ・キャリアアップ研修はリモートでの受講が可能だったため、計画通りに取得することが出来ました。職員のスキルアップと今後の体制を考慮し、2022年度も計画的に実施したいと思います。

## 3 コロナ対策・安全・リスクマネジメントの取り組み

- ・6月にノロウイルスの集団感染が発生しました。保健所と嘱託医に指示を仰ぎながら対応しました。消毒の方法も再確認し徹底しました。
- ・新型コロナウイルス感染症の対応では、園内も感染者が確認され、行政と確認の上、2度の休園措置をとりましたが、保護者の協力により拡大を抑えることが出来ました。マニュアルも更新しながら、法人として対応を確認することが出来ました。
- ・災害時の対応について、避難訓練の中で課題を出しながら改善をしてきました。予定していた商業高校との連携は新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施することが出来なかったため、2022年度改めて申し入れを行います。
- ・緊急時の連絡手段として一斉送信メールは有効でしたが、一部メールを見る習慣のない家庭もあり、アプリ導入などの対応の検討が必要です。

## 4 法人ホームページ・園のリーフレットの更新

- ・ホームページの内容の更新までには至りませんでした。職員募集の掲載を行い、問い合わせもありました。2022年度は、内容の充実を図りたいと思います。
- ・保育のあり方検討プロジェクトの提言を入園のしおりに反映させることが出来ました。2022年度は、リーフレット・ホームページの更新に取り組みます。

## 5 各種規程の整備

- ・ハラスメントに関する規定について着手し、リーダーで内容について確認しました。
- ・就業規則・給与規程等について改定の準備を進めました。2022年度中には職員と協議の上改訂を目指します。

## 6 経営の課題

- ・職員の平均経験年数が12年となり、やっとチーム保育推進加算を受けることが出来ました。そのため、職員を増やし積み立ても行うことが出来ました。しかし、職員の退職等によって加算が取れなくなる場合もあるので、今後、人件費が賄えなくなることを想定し、2022年度は人件費の積み立てを目標とします。

## 7 修繕等

- ・0歳児室テラスの修繕と厨房の電気消毒保管庫の取り換えを行いました。
- ・今年度は大きな修繕は行いませんでしたが、今後、床やフェンス、電気器具などの修繕が必要です。長期的な見通しを持った修繕計画を立てていきたいと思えます。

## (4)年間行事等実施状況

### 1 行事

月	行事等	会議等
4	入園式( ) 園児健診 きくいも掘り(年長児) 端午の節句 避難訓練(火災)	定例職員会議・リーダー会議 給食会議・パート会議(毎月) 未満児会議
5	避難訓練(火災) 懇談会・給食試食会中止	以上児会議 クラス会議・ケース会議
6	避難訓練(地震)	未満児会議 感染症対策委員会 おとまり会実行委員会
7	交通安全教室(4・5歳児) 避難訓練( ) おとまり会はノロウイルス感染拡大予防のため延期	クラス会議・ケース会議 おとまり会実行委員会 未満児会議
8	七夕 おとまり会(年長児) 避難訓練( ) 親子遠足は蔓延防止期間中の為中止	未満児会議 運動会実行委員会
9	運動会は蔓延防止期間中の為延期 避難訓練( )	運動会実行委員会 以上児会議 クラス会議・ケース会議
10	運動会(3歳以上 保護者2名まで) 歯科検診 総合避難訓練 未満児クラス懇談会	未満児会議 おたのしみ会実行委員会 クラス会議・ケース会議
11	園児健診 避難訓練( ) おたのしみ会(3歳以上児入れ替え制 保護者2名まで)	クラス会議・ケース会議 おたのしみ会実行委員会
12	大友剛さんコンサート(zoomにて) もちつき クリスマス会 避難訓練( )	安全管理委員会 未満児会議
1	鏡開き・お正月あそび 交通安全教室(3歳以上児) 商業高校への大津波避難訓練は中止 園内にて訓練する	以上児会議

2	節分(縮小し内容変更) 一日入学は中止 避難訓練 (年長クラス懇談会(zoomにて))	未満児会議 クラス会議 卒園式実行委員会 両園長・主任会議
3	ひな祭り 卒園式(保護者2名) 文集作成 クラス写真撮影 お別れ進級会 避難訓練 (	卒園式実行委員会 新年度会議

\*誕生会は毎月実施

## 2 研修

日 時	研修内容	参加者
4月9日	エピペンの使い方について(園内)	14名
4月24日	園内研修	14名
7月6日	子育て支援連携会議・研修	1名
8月23日	小林先生カンファレンス(私保連)	19名
9月15日	質の高い保育とは(保育協議会)	4名
9月16日	気になるこどもの保護者に伴奏するということ	2名
10月8日	わらべうた(園内)	11名
10月19日	こども理解から始めるこども支援(園内)	16名
12月3日	わらべうた(園内)	12名
12月6日	保育協議会主任研修	1名
12月28日	キッズセンター見学(園内)	1名
1月10・11日	経営研究セミナー	2名
1月12日	新人研修(私保連)	1名
12月8・9日	キャリアアップ研修(乳児保育)	1名
1月4・6日	キャリアアップ研修(幼児教育)	1名
1月13・14日	キャリアアップ研修(保健衛生・安全対策)	1名
2月18日	キャリアアップ研修(保護者支援・子育て支援)	1名

## (5)園の自己評価と課題

別紙

昭和どんぐりの家保育園 保育園の自己評価表

4できている 3概ねできている 2一部検討を要する 1改善を要する

評価項目	内容	自己評価	職員の意見
保育課程 (全体の計画)	ア) 保育所の保育の方針や目標に基づき、子どもの発達を踏まえ、ねらい及び内容が保育所生活の全体を通して、総合的に展開されるようつくりられているか。	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に向けては実態把握まで職員はどのように行っていけばいいのかわからない</li> <li>・創意工夫しているつもりだが共有する時間がもう少しあっても良い。</li> <li>・状況、発達の個人差を十分に把握し長期に見通し・保育計画を作っていくまでは厳しいが、クラス毎での短期の保育の中で十分に考えていく必要はまだまだあり保障していきたい。</li> </ul>
	イ) 地域の実態、子どもや家庭の状況、保育時間などを考慮し、子どもの育ちに関する長期的見通しを持って、適切に編成されているか。	3.5	
	ウ) 子どもの生活の連続性や発達の連続性に留意し、創意工夫して保育できるように編成されているか。	3.6	
指導計画	ア) 保育課程に基づき、子どもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と、それに関連しながら、より具体的な子どもの日々の生活に即した短期的な指導計画を作成して、保育が適切に展開されていたか。	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・短期的な計画が出来るよう個々の発達を理解できるように指導もしていく</li> <li>・年カリ・月カリを担任間で検討する時間が今まであまりなかったため、クラス会議で担任間で話し合えたら良いと思いました。</li> </ul>
	イ) 3歳未満児については、一人一人の子どもの生育歴、心身の発達、活動の実態等の即して、個別的な計画を作成しているか。	3.7	
	ウ) 長時間にわたる保育については、心身の状態に十分配慮して、保育の内容や方法、職員の協力体制、家庭との連携等配慮し保育をしたか。	3.5	
小学校との連携	ア) 子どもに関する情報を共有にして、保育所に入所している子どもの就学に際し、子どもの育ちを支えるための資料が保育所から小学校へ送付されているか。	4	・とても詳しく引継ぎしていると思います。
家庭及び地域との連携	ア) 地域の保護者等に対して、保育所保育の専門性を生かした子育て支援を積極的に努めているか。	3.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門性を生かすためには、これからの経験や研修が必要となる。</li> </ul>
	イ) 地域の関係機関等との積極的な連携及び協働を図るとともに、子育て支援に関する地域の人材と積極的に連携を図よう努めているか。	3.4	
子どもの健康支援	ア) 保健計画を作成し、職員が、一人ひとりの健康状態を適切に把握しているか。	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>保健計画？適切な把握はできていないような。</li> </ul>
	イ) 子どもの心身の健康状態や疾病等の把握のために、嘱託医等により定期的に健康診断を行い、その結果を記録しているか。	3.9	
	ウ) 保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、その子どもの状態に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医やかかりつけ医と相談し、適切な処置を行っているか。	3.9	
	エ) 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めているか。	3.9	
食育の推進	ア) 健康な生活の基本としての「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培うことを目標としているか。	3.5	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期の頃から食べるうれしさ、楽しく食べる事を大切に職員に伝えているか。</li> <li>・クッキング行事もなくなり体験が少なくなっている。</li> <li>・子育て支援として食を伝える役割は大きい。</li> </ul>
	イ) 子どもが生活と遊びの中で、意欲を持って食にかかわる体験を積み重ね、食べることを楽しみ、食事を楽しんでいるか。	3.6	
	ウ) 乳幼児期にふさわしい食生活が展開され、適切な援助が行われているか。	3.8	
	エ) 食物アレルギー、障害のある子どもなど、心身の状態に応じ、適切に対応しているか。	3.8	

環境及び衛生管理並びに安全管理	ア)	施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の環境の維持に努めているか。	3.4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員同士また、新しい職員にしっかり伝えているか。事故を防ぐため何度も確認し合う。</li> <li>・夏は窓を開けても暑くて大変だった。扇風機を各クラスに1台用意しても良いのでは。(または、過ごしやすい室温にするために何か用意する)</li> <li>・玩具の消毒をもっと細目に行った方がいいと思うのですが、保育時間内に行うのは難しいと感じます。</li> <li>・園全体で危険なところを話し合い深められるとよい。</li> </ul>
	イ)	事故防止の取り組みを行う際には、特に睡眠中、水遊び中、食事などの場面で重大事故が発生しやすいことを踏まえ、子どもの主体的な活動を大切にしつつ、施設内外の環境の配慮や指導の工夫を行うなど、必要な対策を講じているか。	3.5	
災害への備え	ア)	防火設備、避難経路などの安全性が確保されるよう定期的に安全点検を行っているか	3.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員同士、再度確認したり、何度も確認できる機会があるといい。</li> </ul>
	イ)	火災や地震などの災害の発生の備え、緊急時の対応や具体的な内容および手順、職員の役割分担、避難訓練計画などに関するマニュアルを作成しているか。	3.9	
	ウ)	定期的に避難訓練を実施するなど、必要な対応を図っているか。	4	
	エ)	災害の発生時に、保護者などへの連絡および子どもの引き渡しを円滑に行うため、連絡体制や引き渡し方法について確認をしているか。	3.8	
子育て支援	ア)	子どもの最善の利益を考慮し、子どもの福祉を重視しているか。	3.9	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者の世代も若くなり、家庭環境も様々になり、保育士の求められるものが多くなっている。保育園全体(リーダー等でも可)でバックアップする必要があると思う。</li> <li>・適切とは言えないが、一緒に考えてアドバイスをしたり受け止めて行こうと努力はしている。</li> <li>・コロナ過でなかなか保護者とゆっくり関わる時間がなかった。</li> <li>・しっかりやっているつもりですが、十分かどうかは疑問です。</li> <li>・連絡ノートやおたよりではしっかり伝えている。</li> </ul>
	イ)	保護者とともに、子どもの成長の喜びを共有出来ているか。	3.9	
	ウ)	一人一人の保護者の状況を踏まえ、子どもと保護者の安定した関係に配慮して、保護者の養育力の向上に資するよう適切に支援しているか。	3.3	
	エ)	子育て等の関する相談や、助言にあたっては、保護者の気持ちを受け止め、相互の信頼関係を培っているか。	3.5	
	オ)	連絡ノートやおたより等で、子どもの状態を伝えているか。	3.8	
職員の資質の向上	ア)	子どもの保育及び保護者に対する保育の指導が適切に行われるように、保育所内外の研修を通じて、必要な知識及び技術の習得がなされているか。	3.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ過で学ぶ機会は以前より減っていると感じます。</li> <li>・日々の保育や事務作業に追われ、なかなか主体的に学ぶまでの余裕がないのでは・・・</li> <li>・子どもの事で精いっぱい仕事以外の研修に積極的になれない実態があるような気がする。</li> </ul>
	イ)	職員一人一人が主体的に学ぶとともに、他の職員や地域との関係機関等、様々な人や場との関わりの中で共に学ぶこと、保育所の活性化を図っているか。	3.5	
施設長の責務	ア)	保育所の役割や社会的責任を遂行するために、その専門性の向上に努めているか。	3.8	
	イ)	職員が、保育所の様々な課題について共通理解を深め、協力して改善に努めることが出来る体制を作っているか。	3.8	

2022年3月

【評価結果と改善点について】

- ・常勤職員11名による園の自己評価を行ってもらった。これまで園長が行っていましたが、職員に行ってもらったことで、改めて気づくことがあった。改善点については、理事会までに考察します。

## (1) 総括

- ・園長、主任の交代に伴い、あらゆる場面での不安や心配が多かった1年だったと思います。ですが、1つ1つの行事を乗り越え話し合いを重ねてきた事で、少しずつ1年の積み重ねが出来た1年であったと思います。また、保護者の方とも日常の会話の中や直接関わる中で「信頼関係作り」を行い、職員と共に力を合わせてきました。まだまだ行き届いていない点もあると思いますが、これからも職員と共に協力し合い、保育園としての役割を確認しながら、保育園運営を進めて行きたいと思います。
- ・2021年度は、新卒で採用した職員が1ヶ月にも満たない内に自己退職し、年度の途中でもう1人退職となり、「職員不足」で悩まれた1年でした。ハローワークからの求人募集連絡は1件もなく、早急な人員確保のため「紹介業者」を利用し、そこからの採用が主となっています。紹介料も経験年数に応じて加算され、運営費の心配も大きかった年度でした。求人募集方法については、今後の課題にもなってきますが、現職員が「働き続けられる環境づくり」と「働きやすい環境づくり」が重要だと感じています。職員の集団作りについて、丁寧な関わりを行って行きたいと思います。
- ・新型コロナウイルス感染対策では、毎朝の園内消毒清掃を行い、手洗い・手指消毒・健康チェック（体温確認・視診）の他に、保護者の方へマスク着用をお願いをしています。また、出来るだけ「クラス別保育」を行い、園内での感染拡大予防に努めています。家庭内感染で園児5名が感染した他に、園内で2月に1歳児クラスの園児が保育中に発熱し「陽性」が判明し、1・2歳合同クラスを1週間閉鎖いたしました。園児からの感染は拡がらずに済みましたが、クラス閉鎖と同時に保育業務を行わなければならない事は、コロナ対応と体制の調整がとても大変でした。
- ・保護者支援では、クラス懇談会を毎年前期（5～6月頃）・後期（2～3月）に行い、話し合う場を設けていましたが、後期は「まん延防止」のため、開催する事が出来ませんでした。またコロナ禍のため、ここ数年の行事は以上児クラスのみ開催となっていて、集まって話をする機会も減ってきています。今後も感染対策を取りながら、保護者同士の交流の場として懇談会の位置づけを行って行きたいと思います。日常の保育の伝え合いでは、日々の連絡ノートやクラスだより（写真付）の活用をし、クラス作品を玄関や階段周りの見える所に掲示する等、環境作りについても保護者の方が安心できる工夫を心掛けました。今後は、必要に応じて「個人面談」を行うなど、保護者の方の子育ての悩みに共感し、思いを受け止めながら寄り添い、一緒に考え合う事や支援する事を大事にして行きたいと思います。

## (2) 保育園の運営状況

\*年間利用者数：園児数（人）・一時保育（利用日数）

	園児	一時		園児	一時		園児	一時
4月	71	25	5月	71	33	6月	71	42
7月	71	42	8月	71	27	9月	71	29
10月	71	29	11月	71	16	12月	71	23
1月	71	29	2月	71	26	3月	71	34

\*職種別職員数(3月末日現在)

園長	保育士（パート）	栄養士	調理員	事務	用務
1名	24名（12名）	1名	4名	1名	2名

### (3)2021 年度の課題に対する評価

#### 1 保育園の管理運営の充実

両園長・主任での交流は、1回の会議しか開催出来ませんでした。両園長での話し合い  
打ち合わせは、必要に応じて行う事が出来、保育についての確認を行いながら進める事が出来た  
と思います。また、理事会や事務局会議では、コロナ禍の保育園の課題と検討事項等について  
討議できた事で、園としての方向性が見え、園としての管理体制の強化に繋がれたと感じて  
います。

#### 2 研修の充実

予定していた研修が、延期や中止になる事があった2021年度でした。コロナ禍のため、な  
かなか対面での研修には参加できませんでしたが、web研修が増え参加しやすい環境が整  
い、負担なく研修に参加出来たと思います。また、研修を通しての学びを保育に活かすなど、  
実践に繋げることも出来ました。研修については、計画的に実施して行きたいと思います。

#### 3 コロナ対策・安全・リスクマネジメントの取り組み

新型コロナウイルス対応では、市や関係機関からの指示に従い対応していましたが、感染に  
拡がりが見られると、感染についての対応は「園任せ」となり、対応に悩む事が多々ありま  
した。ですが、その都度事務局の皆様や委託医などに相談しながら対応し、園内での感染拡  
大には至らずに済んでいます。また、感染対策については、定例職員会議の中で確認し、防  
災対策についてもマニュアルを活用して園内研修で伝える事が出来ました。今後の課題とし  
ては、感染対策の学習会を継続的に行い、事故防止対策と安全管理体制を強化して行きたい  
と思います。

#### 4 法人ホームページ・園のリーフレットの更新

入園のしおりについては、各園のリーダー職員と両園長で話し合いを行い、改めて内容の確  
認をし、文言などの変更を行い更新しました。ですが、法人ホームページの更新はできな  
かったので、どんぐり保育園の魅力を地域へ周知できるよう、園のリーフレットについても併  
せて更新して行きたいと思います。

#### 5 各種既定の整備

就業規則等の整備・見直しを行い、改定に向けて準備して行きます。変更する場合は、職員  
と協議を行い周知して行きたいと思います。

#### 6 経営の課題

異動・退職等により職員の経験年数が、9年から7年に下がりました。また、採用について  
も、ハローワークからの紹介はなく、紹介業者からの採用が主となり、経験年数によって紹  
介料が変わり、採用についての予算化等も考えながら運営に当たる必要があると感じていま  
す。ベテラン職員が減り、新人・若手職員が増えて行く中、経験年数を積み重ねていけるよ  
う、働き続けられる環境の整備と職員集団の関係作りを大切に築いて行きたいと思いま  
す。

#### 7 修繕等

- ・2階保育室（年中・年長）と小ホールの床修繕
- ・正面入り口の柵修繕
- ・螺旋階段備え付き電气管の交換（2つ）

治水の園舎は築年数が古い（築42年）事もあり、あちこち修繕箇所が出てきており、保育

環境の整備として、子どもの安全を考慮した環境作りを優先に改善して行きたいと思います。

#### (4)年間行事等実施状況

##### 1 行事・避難訓練・研修

	行事	避難訓練	研修
4月	入園式 端午の節句	地震・火災時の避難方法	園内研修
5月		地震	
6月	親子遠足（中止） ミニミニ運動会	地震から火災	障がい児保育研修 わらべうた研修
7月	おとまり会	地震から津波	障がい児保育研修
8月	七夕	火災	障がい児保育研修
9月	運動会（延期）	シェイクアウト訓練	保協研修
10月	運動会（3.4.5歳） 運動会ごっこ（0.1.2歳） 七五三 バス遠足：4.5歳・雨天中止	総合避難訓練	障がい児保育研修
11月	おたのしみ会（3.4.5歳）	地震から停電	障がい児保育研修 わらべうた研修
12月	もちつき会 クリスマス会	地震 一斉送信メール	主任研修 キャリアアップ研修（乳児） わらべうた研修
1月	鏡開き お正月遊び	火災	キャリアアップ研修 （子育て支援・幼児保育・ マネジメント） 障がい児保育研修
2月	節分（各クラス単位）	地震から大津波	キャリアアップ研修（安全管理）
3月	ひな祭り会 卒園式 冬の遠足（年長組） お別れ進級会	地震	

##### 2 会議

- ・定例職員会議、リーダー会議、給食会議、パート職員報告会：毎月1回
- ・カリキュラム会議（以上児クラス・未満児クラス）：2ヶ月に1回
- ・クラス会議、ケース会議：毎月1回（4月・8月・3月はなし）
- ＊会議は予定通り実施出来たが、職員の退職に伴い、人員確保に時間が掛かった事でクラスでの打ち合わせの時間や1日上がっての事務時間の保障が出来なかったため、半日の事務時間を保証し対応しました。
- ・おとまり会打ち合わせ：6月・7月
- ・運動会実行委員会：8月・9月
- ・おたのしみ実行委員会：10月・11月
- ・卒園式実行委員会：2月・3月
- ・新年度準備委員会：3月19日

## (5)園の自己評価と課題

\*保育園の自己評価：別紙参照

### 【課題】

今年度は、職員に「自己評価（点数・自己評価と反省）」の記入をして貰った事で、周知していなかった事や確認不足等があった事が分かり、改善の気づきと見直しに繋がり、園としての課題の整理も出来ました。

「行事の見直し」・「保護者支援」・「研修の充実」・「安全管理と危機管理」などを職員と共に話し合いの時間を設け充実させる事が出来るよう、今後もより良い保育園づくりを目指して行きたいと思います。

評価項目	内容	自己評価	意見
保育課程 (全体の計画)	ア) 保育所の保育の方針や目標に基づき、子どもの発達を踏まえ、ねらい及び内容が保育所生活の全体を通して、総合的に展開されるようつくられているか。	3.4	・子どもの様子を見て遊びや環境を変化させ活動内容を工夫している。 ・室内遊びでは同じ内容に偏ってしまう事もあるので、廃材などを使った自由制作コーナー等を増やせたら良いと思う。 ・環境を整えるという点では、まだまだ検討しなければいけない点がある。
	イ) 地域の実態、子どもや家庭の状況、保育時間などを考慮し、子どもの育ちに関する長期的見通しを持って、適切に編成されているか。	3.2	ア) 園内研修の中で全体の計画について報告し、各年齢ごとの「発達目標」を確認し、年間カリキュラム・月案・個人記録に目標を位置づけた作成を行い、カリキュラム会議・クラス、ケース会議等の中で、園児・クラスの様子についての検討・課題の整理をし、保育に反映している。
	ウ) 子どもの生活の連続性や発達の連続性に留意し、創意工夫して保育できるように編成されているか。	3.5	イ) 母子家庭・父子家庭・フルタイム勤務・短時間勤務・居住の地域
指導計画	ア) 保育課程に基づき、子どもの生活や発達を見通した長期的な指導計画と、それに関連しながら、より具体的な子どもの日々の生活に即した短期的な指導計画を作成して、保育が適切に展開されていたか。	3.6	ア) 保育課程に基づき年間カリキュラムを作成し、クラスの様子を含めて具体的な実践に結び付けられるよう、月案・週案を作成している。また、カリキュラム会議で検討した内容と自己評価で振り返りを行い、保育内容の改善を図り、会議
	イ) 3歳未満児については、一人一人の子どもの生育歴、心身の発達、活動の実態等の即して、個別的な計画を作成しているか。	3.7	・子どもの様子や気持ちを一番に考慮し室内と戸外遊びに分ける等個別での活動を行っている。イ) 未満児は個々の発達に合わせてカリキュラムを作成し、未満児会議で検討した内容を保育に反映させている。
	ウ) 長時間にわたる保育については、心身の状態に十分配慮して、保育の内容や方法、職員の協力体制、家庭との連携等配慮し保育をしたか。	3.3	・その目によって戸外・室内・ホールか人数を分けながら調整している工夫が見られる。ウ) 長時間保育園で過ごす園児については、職員間での引継ぎを行い、ケガの報告や保護者対応等に対しては、伝え漏れにならない対応として、口頭確認の他メモにして伝え合うなど工夫
小学校との連携	ア) 子どもに関する情報を共有にして、保育所に入所している子どもの就学に際し、子どもの育ちを支えるための資料が保育所から小学校へ送付されているか。	3.7	ア) 引継ぎチェックシートを作成し、園児の様子・家庭について、口頭での引継ぎを行い、支援児は実際に園での様子を見に来て貰い、安心して通学出来る引継ぎを行っている。学校生活がスムーズに送れるよう保育記録作成しを提出している。
家庭及び地域との連携	ア) 地域の保護者等に対して、保育所保育の専門性を生かした子育て支援を積極的に努めているか。	3.4	・コロナで難しい点があった。 ・地域という点では、積極的かどうか疑問。
	イ) 地域の関係機関等との積極的な連携及び協働を図るとともに、子育て支援に関する地域の人材と積極的に連携を図るよう努めているか。	3.4	ア) イ) コロナ禍のため高齢者施設への訪問や地域の方たちとの触れ合いは減少傾向にあるが、一時保育事業・園見学などを通じ、地域家
子どもの健康支援	ア) 保健計画を作成し、職員が、一人ひとりの健康状態を適切に把握しているか。	2.7	・保健計画を詳しく把握していない。園主体としてまだ意識が低いと感じる
	イ) 子どもの心身の健康状態や疾病等の把握のために、嘱託医等により定期的に健康診断を行い、その結果を記録しているか。	3.6	・年度当初は周知しているが、会議で変化等の報告があると良い ア) 保健計画の周知不足の改善と、園児についての変更・報告等があった場合は、会議等で全職員へ周知し、園児に対しての健康状態を把握できるよう改善を図っていく。イ) 委託委による園児健康診2回・歯科検診年1回実施。
	ウ) 保育中に体調不良や傷害が発生した場合には、その子どもの状態に応じて、保護者に連絡するとともに、適宜、嘱託医やかかりつけ医と相談し、適切な処置を行っているか。	3.6	・子どもの様子を確認し迅速な対応で事案までの協力と支えながら対応できている。ウ) 発熱や体調不良等は、保護者へ連絡を入れ様子について報告をする。園での怪我については、大小関係なく状況・経緯を丁寧に伝えお詫言、受診が必要な場合は、保護者へ直接連絡をし、日々の保育の中で子ども達に感染予防の声掛け対応をしている。
	エ) 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、その発生や疑いがある場合には、必要に応じて嘱託医、市町村、保健所等に連絡し、その指示に従うとともに、保護者や全職員に連絡し、協力を求めているか。	3.7	エ) 感染症など流行性の疾病については、保護者・職員へお便りの配布や掲示等で周知している。今年度は未満児クラスでの「RSウイルス」が流行し、市からの情報や委託医から助言を頂いた事を参考に伝
食育の推進	ア) 健康な生活の基本としての「食を営む力」の育成に向け、その基礎を培うことを目標としているか。	3.7	・調理前の素材の形状、乾物など喫食時に変化している食材に触れる機会がない・調味料では表現できない味に触れる場を与えられたら良い。また、食に関して極度の偏食や興味がない子どもに対して、どのような形状や環境が必要なのかを知りたい・給食ノートを読みそれぞれの食材の働きを伝えたり、苦手な物に対しては無理のない範囲で促し対応している・食への意欲を持つために野菜を育てる経験は良いと思う(畑・プランター菜園等)
	イ) 子どもが生活と遊びの中で、意欲を持って食にかかわる体験を積み重ね、食べることを楽しみ、食事を楽しんでいるか。	3.5	ア) イ) ウ) エ) 身体を作る上で重要な役割のある食育は、添加物の使用をせず食材・調味料についても、安心安全な自然食品や国内産を
	ウ) 乳幼児期にふさわしい食生活が展開され、適切な援助が行われているか。	3.7	ア) 季節に応じて室温・湿度の調整を行い、換気については窓を常に開け濃度測定器を各保育室に置き対応している。イ) 睡眠時の事故防止として0.1歳クラスではSIDSチェック表で園児の呼吸を目視して確認し、2歳以上クラスも午睡職員が園児の様子を確認して対応している。また、水遊びでは危険のないよう保育士が側で見守り、ケガに
	エ) 食物アレルギー、障害のある子どもなど、心身の状態に応じ、適切に対応しているか。	3.7	ア) イ) ウ) エ) 身体を作る上で重要な役割のある食育は、添加物の使用をせず食材・調味料についても、安心安全な自然食品や国内産を
環境及び衛生管理並びに安全管理	ア) 施設の温度、湿度、換気、採光、音などの環境を常に適切な状態に保持するとともに、施設内外の環境の維持に努めているか。	3.5	ア) 季節に応じて室温・湿度の調整を行い、換気については窓を常に開け濃度測定器を各保育室に置き対応している。イ) 睡眠時の事故防止として0.1歳クラスではSIDSチェック表で園児の呼吸を目視して確認し、2歳以上クラスも午睡職員が園児の様子を確認して対応している。また、水遊びでは危険のないよう保育士が側で見守り、ケガに
	イ) 事故防止の取り組みを行う際には、特に睡眠中、水遊び中、食事などの場面で重大事故が発生しやすいことを踏まえ、子どもの主体的な活動を大切にしつつ、施設内外の環境の配慮や指導の工夫を行うなど、必要な対策を講じて	3.4	
災害への備え	ア) 防火設備、避難経路などの安全性が確保されるよう定期的に安全点検を行っているか	3.9	・安全管理について、全職員に周知出来る機会があると良い。・予告なしの避難訓練で瞬時に臨機応変的確に動く力を身につけたい。ア) 防火管理設備等点検は、年に2回実施し異常なし。安全点検はチェック表を使用して毎月点検し、危険箇所については園児に危険が及ぶよう、応急処置や改善するなど対応をしている。イ) 安全管理委員会で防災時の備蓄品の点検・確認を行い、災害に備え必要な備蓄品を購入した。イ) 避難訓練の年間計画を作成し、計画に基づいて毎月避難訓練を実施。今年度は、協立病院との合同避難訓練はコロナ禍のため
	イ) 火災や地震などの災害の発生への備え、緊急時の対応や具体的な内容および手順、職員の役割分担、避難訓練計画などに関するマニュアルを作成している	3.8	・保護者支援は最近の課題でもあり、難しくなってきたように感じる。
	ウ) 定期的に避難訓練を実施するなど、必要な対応を図っているか。	3.8	・子どもの利益や権利についての研修を行いたい。
	エ) 災害の発生時に、保護者などへの連絡および子どもの引き渡しを円滑に行うため、連絡体制や引き渡し方法について確認をしているか。	3.4	・保護者が疑問や不備に感じている事を言いやすい関係にあると良いと思う。
	ア) 子どもを最善の利益を考慮し、子どもの福祉を重視しているか。	3.3	・子どもへの声掛けや関わり、呼び名について全体的に統一していない部分があると感じる。
	イ) 保護者とともに、子どもの成長の喜びを共有出来ているか。	3.8	
	一人一人の保護者の状況を踏まえ、子どもと保護者の安定した関係に配慮		

子育て支援	ウ)	ハ) ハの保護者の状況を踏まえ、子どもの保護者となった関係者に配慮して、保護者の養育力の向上に資するよう適切に支援しているか。	3.1	い部分があると感じる。 ・職員の心配りや気遣いで、保護者より円滑な信頼関係が築けると思う。
	エ)	子育て等の関する相談や、助言にあたっては、保護者の気持ちを受け止め、相互の信頼関係を培っているか。	3.5	ア) イ) オ) 子どもの人権を大切に一人一人の思いを受け止める事を基本とし、保育士との信頼関係を土台に安心感のある生活作りや主体性の育ちに繋がる保育を心掛けている。また、日常の様子の伝え合いの中で保護者とも信頼関係を築き、保護者の気持ちに寄り添い安心出来る環境・関係作りを行っている。
	オ)	連絡ノートやおたより等で、子どもの状態を伝えているか。	3.6	
職員の資質の向上	ア)	子どもの保育及び保護者に対する保育の指導が適切に行われるように、保育所内外の研修を通じて、必要な知識及び技術の習得がなされているか。	3.4	・コロナ禍のため、研修や学ぶ機会が減っている・若い職員への研修の場を充実させたい・園内研修や外部講師など、専門的な学びを深めたい。ア) キャリアアップ研修で得た知識を保育へ活かす等の工夫が見られたが、まん延防止の発令とコロナ禍もあり、予定していた研修が延期・中止になった物もあった。イ) コロナ禍のため職員研修の活性化については様々な課題はあると感じるが、保育の多様化に向けて
	イ)	職員一人一人が主体的に学ぶとともに、他の職員や地域の関係機関等、様々な人や場との関わりの中で共に学び合うことで、保育所の活性化を図っているか。	3.3	
施設長の責務	ア)	保育所の役割や社会的責任を遂行するために、その専門性の向上に努めているか。	3.7	・新しい取り組みや改善点など、積極的に打ち出し努力して下さっているのが良く分かり感じる・体制について声を出し互いに協力しある職員の集団作りが必要だと感じる。ア) イ) 毎月のリーダー会議の中
	イ)	職員が、保育所の様々な課題について共通理解を深め、協力して改善に努めることが出来る体制を作っているか。	3.6	研修、課題にも内容を職員会議、給食会議、保育士職員会議等

2022年3月